

# 令和4年度一般社団法人栃木県作業療法士会 定期総会書面決議 議案書

開催日時：令和4年5月28日（土）午前10時～

開催方式： オンライン（ZOOM）

- |       |  |
|-------|--|
| 第1号議案 | 令和三年度事業報告                              |
| 第2号議案 | 令和三年度収支決算報告                            |
| 第3号議案 | 会員個人情報に関する日本作業療法士協会<br>との覚書締結（改訂版）報告の件 |
| 第4号議案 | 令和四年度事業計画案                             |
| 第5号議案 | 令和四年度収支予算案                             |

令和4年4月26日

一般社団法人

栃木県作業療法士会 会員各位

一般社団法人 栃木県作業療法士会

会 長 仲田 和恵

事務局長 坂田 尚昭

一般社団法人 栃木県作業療法士会  
令和4年度定期総会のご案内について

謹啓 時下、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より、栃木県作業療法士会の活動および運営につきましては格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、一般社団法人栃木県作業療法士会の定期総会の時期が近づいてまいりました。昨年度に引き続き、COVID-19感染拡大防止のため、令和4年度の定期総会はオンラインにて開催いたします。

士会員の皆さまのリモートでの総会出席、そしてオンラインで議決をとる方法を考えましたが、個人のネット環境の不安定さや出席者本人の特定の難しさにより正確な集計を保證することができないと判断いたしました。よって、今年度も書面による決議といたします。

つきましては、総会開催に向けて「定期総会議案書」をお送りいたします。士会員の皆さまには、議案書をご確認いただき、「議決権行使書」のご提出にて、議案に対する意思表示をしていただきたく存じます。

第1号議案から第5号議案それぞれに対してご検討いただき、賛成または反対のいずれかに意思表示をお願いいたします。「議決権行使書」を指定の期限（5月14日）までに事務局へご提出して、議決権の行使を行っていただくようお願い申し上げます。また、オンライン総会に参加される方はオンライン参加申込書の方も併せてご提出をお願いいたします。

すべての議案は、議決権行使書に基づき、過半数の議決により決とします。結果は、オンライン総会のご報告とさせていただきます。なお、ご質問やご意見はオンライン総会時にお受けしたいと思います。

以上、会員の皆さまにおかれましては、ご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

謹白

## 令和3年度事業報告

### 〈事務局〉

局長 坂田 尚昭  
理事 友利 海邦

#### 総務部

1. 会議の開催および運営
  - (1) 総会 令和3年5月22日 オンライン開催
  - (2) 理事会 令和3年4・6・8・10・12月・令和4年1・2・3月
  - (3) 三役会議 令和3年11月25日
2. 内外の文書の処理
3. 日本作業療法士協会との連携活動
4. 他団体との情報交換
5. 求人・求職に関する情報提供（広報部との連携）
6. 行政からの委託事業対応（各種委員の推薦、講師派遣調整）
7. 定款の見直し
8. 定款施行規則の作成・見直し
9. 日本作業療法士協会の倫理担当窓口
10. 作業療法の倫理に関する情報の管理・整理
11. 役員選挙の公示・実施及び登記変更手続き
12. 士会事務所運営管理
13. インターネット法人口座開設

#### 会員管理部

理事 板倉 未来

1. 会員の入退会等会員管理
2. 年会費の徴収および管理
3. 年会費領収証の発行および管理
4. 年会費未納会員に対する対応

#### 財務部

理事 松川 勇

1. 会計担当者会議の開催：1回
2. 各部会計担当者への活動費分配、連絡調整
3. 各部研修会参加費領収証の発行
4. 講師謝金等にかかる源泉税の納入および管理
5. 講師謝金領収証の発行
6. 令和3年度補正予算ならびに決算報告書作成
7. 令和3年度会計監査会の開催
8. 令和4年度予算案の作成

## 〈各部〉

### 学術部

理事 須藤 智宏

1. 分野別研修会の開催：身体障害分野 2回（11月12日、2月16日） 参加者延べ65名  
精神障害分野 2回（11月30日、1月28日） 参加者延べ54名  
発達障害分野 2回（11月4日、1月26日） 参加者延べ76名  
老年期障害分野 2回（12月3日、1月19日） 参加者延べ38名  
全領域対象 2回（10月22日、12月17日） 参加者延べ25名
2. 部会会議の開催：研修会調整会議4回

### 広報部

理事 高村 直裕

1. 広報部門：日本作業療法士協会広報部との連携
2. 会報誌部門：会報誌「柘の実」 No.101、102、103 発行
3. ホームページ部門：ホームページ運用・情報更新、メーリングリスト運用、ホームページコンテンツ作製
4. 広報部会議の開催：3回

### 福利厚生部

理事 和久井 千夏子

1. 新入会員歓迎会は新型コロナ感染対策のため中止
2. 新入会員への記念品贈呈(75名分)
3. オンライン研修に関するアンケートの実施

### 事業部

理事 山口 理貴

1. 啓発活動：コロナウイルス対策のため全て中止
2. 障害者スポーツ
  - (1) 障がい者スポーツ指導員初級講習会への参加
  - (2) 県内障害者スポーツチームのサポート参加  
精神障害者バレーボール、身体障害者ツインバスケット、知的障害者バスケット、ソーシャルフットボール
  - (3) 2022年全国障害者スポーツ大会 in 栃木に向けた活動  
県と連絡調整・会議出席、障害区分判定審査、コンディショニンググループ運営に向けた準備
3. 障害福祉に係る事業
  - (1) 栃木県障害福祉課主催の協議の場への参加  
栃木県自立支援協議会相談支援部会（山口）・地域移行ワーキンググループ（須藤）
  - (2) 栃木県発達障害者支援アドバイザーの協力  
県から委託を受け県内福祉事業所に派遣（山口、関森、緒方）
  - (3) 県土会員向けの障害福祉サービス等の相談窓口設置  
8件（電話・オンライン：障害福祉サービスの適用、相談支援、就労支援、住まい）
4. 制度改正情報の収集：日本作業療法士協会主催の制度説明会への参加、報告

## 1. 現職者共通研修部門

## (1) 研修会開催

第1回共通研修：令和3年10月24日

「生涯教育概論」

参加者：42名

「作業療法における協業・後輩育成」

参加者：50名

第2回共通研修：令和3年12月5日

「実践のための作業療法研究」

参加者：37名

「日本と世界の作業療法の動向」

参加者：48名

第3回共通研修：令和3年12月19日

「保健・医療・福祉と地域支援」

参加者：43名

「作業療法の可能性」

参加者：38名

第4回共通研修：令和4年2月6日

「職業倫理」

参加者：39名

「事例報告と事例研究」

参加者：34名

事例検討報告会：令和3年12月19日

参加者：35名

令和4年2月6日

参加者：21名

(2) 部会担当者会議：1回

(3) 令和4年度事業準備

## 2. 現職者選択研修部門

## (1) 研修会開催

現職者選択研修（精神障害領域）：令和3年11月7日

参加者：13名

(2) 部会担当者会議：1回

## 3. MTDLP 部門

(1) 選択研修（MTDLP 領域）：令和3年9月12日

参加者：15名

(2) MTDLP 書き方研修会：令和3年9月26日

参加者：9名

(3) MTDLP 事例報告会：令和4年1月23日

参加者：6名

(4) 部会担当者会議：2回

(5) MTDLP 連絡連携会議：3回

## 4. 生涯教育管理部門

(1) 士会主催研修会参加者名簿・講師名簿の登録作業

(2) 生涯教育制度各種の連絡

(3) 生涯教育制度への問い合わせ対応

(4) 生涯教育制度推進担当者会議：3回

1. 管理部門

部門会議：2回

2. 地域包括ケア推進部門、各ブロック

日本作業療法士協会主催 地域支援事業に関する人材育成研修（オンライン）×3回 部員3-4名参加

令和3年11月4日 県北ブロック×学術部発達分野コラボ研修：参加者37名

令和3年11月30日 県南ブロック×学術部精神分野コラボ研修：参加者35名

令和3年12月16日 県央ブロック×学術部高齢者分野コラボ研修：参加者18名

令和4年1月30日 地域支援事業に資する人材育成伝達研修：参加者21名

地域ケア会議見学システム構築：参加者3名

部門内会議：3回

ブロック会議：各ブロック3回

3. 訪問リハビリテーション推進部門

第12回訪問リハビリテーション・地域リーダー会議（オンライン） 部員2名参加

令和3年11月28日 訪問リハビリテーション推進部門×住宅改修福祉用具委員会コラボ研修  
：参加者15名

部門内会議：3回

4. 認知症ケア対策推進部門

日本作業療法士協会主催 制度対策部認知症班情報交換会（オンライン） 部員2名参加

令和4年1月16日 認知症アップデート研修：参加者22名

部門内会議：2回

※栃木県リハビリテーション専門職協会主催にて以下を実施

地域ケア会議・介護予防リーダー導入、ブラッシュアップ研修

訪問リハビリテーション実務者研修

委員会担当

理事 岩瀬 直樹

1. 常設委員会の住宅改修・福祉用具委員会および災害リハビリテーション対策委員会、特設委員会の自動車運転支援検討委員会に参加し、進捗を理事会に報告し、フィードバックしていきながら、円滑な委員会活動が行えるよう調整を行った。

栃木県作業療法学会実行委員会

学会長 有馬 正人

1. 第11回栃木県作業療法学会を令和3年11月21日にオンライン開催：参加者80名  
テーマ：一歩前へ ～思い合える想像力～
2. 実行委員会会議：9回

## 〈常設委員会〉

### とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員会

委員長 宇梶 慶明

1. 委員会会議開催：11回
2. 第22回とちぎリハビリテーションフォーラムの開催（令和4年2月20日）  
テーマ：高齢者・高次脳機能障害者の自動車運転支援～運転に必要な能力と多職種との関わり、その支援～  
参加者数：93名

### とちぎリハビリテーションフォーラム準備委員会

委員長 岩瀬 直樹

1. 委員会会議開催：0回
2. 令和3年度の第22回とちぎリハビリテーションフォーラムを令和4年2月20日に開催するに伴い、開催間隔調整のため、第23回とちぎリハビリテーションフォーラムは令和5年5月に開催予定とする。よって、令和3年度の準備委員会活動は実施していない。

### 住宅改修・福祉用具委員会

委員長 須藤 誠

1. 委員会会議：5回（オンライン）
2. 研修会開催（1）自助具セミナー 10月10日  
（2）コラボ研修（訪問リハビリテーション推進部門×住宅改修福祉用具委員会）11月28日
3. 第16回とちぎ福祉用具・自助具“発明・工夫・適応”コンテスト開催
4. 学会・ホームページ・広報誌での委員会活動報告

### 災害リハビリテーション対策委員会

委員長 熊倉 万実子

1. 会議開催：5回（オンライン）
2. 災害リハビリ研修会の開催（オンライン）令和4年2月15日 栃木県リハビリテーション専門職協会主催
3. 各ブロックにおける連絡網の作成
4. 災害発生を想定した災害シミュレーション訓練の実施 令和3年9月25日

### 学会調整委員会

委員長 松崎 昭治郎

1. スムーズな企画運営のための手引書の作成（県南・県北ブロック担当学会を反映させ、随時追記をした）
2. 各ブロックの企画内容の大きな格差の検討

## 〈特設委員会〉

### 特別支援教育・スクールOT推進検討委員会

委員長 谷口 敬道

1. 栃木県特別支援学校自立活動充実事業における栃木県教育委員会窓口
2. 令和3年度栃木県特別支援学校自立活動充実事業への協力
3. 教育研究機関、行政機関からの相談への協力
4. 発達障害領域分野別研修会における委員会活動経過報告・学校での具体的支援報告  
令和4年1月26日（オンライン） 参加者数：43名

自動車運転支援検討委員会

委員長

土屋 綾子

1. 委員会会議開催：1回（オンライン）

臨床実習指導者研修委員会

委員長

谷口 敬道

1. 第1回栃木県作業療法士会臨床実習指導者講習会開催 令和3年12月11日・12日  
於：国際医療福祉大学 参加者：59名
2. 第2回栃木県作業療法士会臨床実習指導者講習会開催 令和4年3月12日・13日  
於：マロニエ医療福祉専門学校 参加者：57名

研修会検討委員会

委員長

横山 奈美

1. 検討会議開催：7回（オンライン）
2. 研修会開催マニュアル作成
3. 研修会感染マニュアル作成
4. 研修会について会員へのアンケート実施
5. 令和四年度研修会開催予定表作成

記念誌作成準備委員会

委員長

坂田 尚昭

1. 記念誌作成のための会議開催：4回

## 令和3年度 他組織・団体等の士会代表委員名簿

内容	期間	依頼関連部署	担当
栃木県立リハビリテーションセンター運営懇談会	H13～	栃木県立リハビリテーションセンター	仲田 和恵(上都賀総合病院精神科デイケア)
栃木県脳卒中・心血管疾患対策協議会	H15.4～	栃木県保健福祉部健康増進課	横山 奈美 (JCHO うつのみや病院)
栃木県災害リハビリテーション支援関連団体協議会	H26.4～		仲田 和恵(上都賀総合病院精神科デイケア)
宇都宮市介護認定審査会	R3.4～	宇都宮市保健福祉部高齢福祉課	坂田 尚昭 (新上三川病院) 有馬 正人 (曙訪問看護ステーション) 岩瀬 直樹 (第2宇都宮リハビリテーション病院) 横山 奈美 (JCHO うつのみや病院) 高橋 強 (JCHO うつのみや病院附属介護老人保健施設) 渡邊 真一 (白澤病院) 伊澤 仁美 (自宅)
宇都宮市障がい支援区分認定審査会	R3.4～	宇都宮市保健福祉部障がい福祉課	大橋 由美子 (マロニエ医療福祉専門学校) 阿久津 卓 (宇都宮リハビリテーション病院) 亀山 朋子 (宇都宮西ヶ丘病院)
栃木刑務所地域連携事業	R3.4～	栃木刑務所	瀧田 祐子 (だいなリハビリクリニック) 久米 真菜美 (ユニットケア しおや)

### 栃木県立リハビリテーションセンター運営懇談会

目的：栃木県立リハビリテーションセンターの医療・福祉サービスの向上を図るため、関係者から運営等について広く意見を聴取する。

内容：平成30年4月に地方独立行政法人に移行し、平成30年10月に当運営懇談会が設置。平成31年2月に第1回目の懇談会が開催された。運営懇談会の委員は医療従事者団体の他、行政機関、地域中核病院、施設関係団体など計13団体から構成されている。年1回の懇談会開催が基本だが、令和3年度はCOVID-19関連により開催は見送られている。

## 栃木県脳卒中・心血管疾患対策協議会

目的：栃木県脳卒中医療懇談会を経て平成 14 年度より栃木県脳卒中对策協議会へ。平成 20 年度より、急性心筋梗塞対策も含めた総合的な循環器対策の検討が必要となったため急性心筋梗塞が加わり、栃木県脳卒中・急性心筋梗塞対策協議会へ変更。更に、平成 29 年度 8 月より栃木県脳卒中・心血管疾対策協議会に名称変更している。本県における脳卒中及び心筋梗塞等の心血管疾患に関する課題とそれに応じた予防及び医療の一連の施策について検討するとともに、関係者相互の情報交換を図り脳卒中及び心血管疾患対策の効率的かつ多様な取り組みを促進するための協議会

内容：令和 3 年 12 月 7 日に第 26 回栃木県脳卒中・心血管疾患対策協議会を開催

- (1) 栃木県における脳卒中・心血管疾患対策における取組状況の報告
- (2) 循環器病の急性期医療連携体制整備について

## 栃木県災害リハビリテーション支援関連団体協議会

目的：将来起こりうる大規模災害に対し、災害発生初期からリハビリテーション支援活動を組織的に展開することのできる体制を作り、災害時の要配慮者に対してリハビリテーションの観点から必要な環境調整を含めた支援を行う。

- 内容：1. 栃木県 JRAT 活動マニュアルの作成
2. 協力者のスキルアップのための研修会実施
  3. その他

## 令和 3 年度 協会関連委員会及び窓口担当者名簿

委員会及び担当窓口	期間	協会担当部	担当
教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進班	H15. 9～	教育部	渡邊 真一（白澤病院）
倫理問題担当窓口	R3～	倫理委員会	友利 海邦（新上三川病院）
生活行為向上マネジメント（MTDLP）	R3～	MTDLP 士会連携支援室	五月女 彩貴（那須赤十字病院）
47 都道府県委員会	H27. 4～	47 都道府県委員会	仲田 和恵（上都賀総合病院精神科デイケア）

## 生涯教育制度推進班

- 役割：1. 現職者共通／選択研修の企画・開催
2. 現職者選択研修の広報（協会機関誌・HP）
  3. 「生涯教育制度」に関する士会員からの相談への対応
  4. 現職者共通研修および選択研修の実績報告
  5. 新規 SIG 登録の報告
  6. 生涯教育受講登録システムへの登録

#### 倫理問題担当窓口

- 役割：1. 作業療法士職業倫理指針の会員への周知徹底を図る  
2. 会員の倫理向上及び倫理問題に関する協会担当者との連携  
3. 会員の倫理問題に関する相談、情報の収集・調整

- 内容：1. 士会活動は今年度はなし  
2. 協会より「倫理問題事例」を報告受理

#### 生活行為向上マネジメント担当窓口

- 役割：1. 生活行為向上マネジメント（MTDLP）の士会員への周知のための研修会実施  
2. 日本作業療法士協会からの情報収集  
3. 栃木県内の関係団体との連絡調整

#### 47 都道府県委員会

目的：協会と士会の連携強化および抱えている課題への整理検討

- 内容：1. 協会から士会への情報提供  
2. 協会各部と士会の連携  
3. ワーキンググループ（地域 OT 支援・組織強化・精神科）活動

### 令和3年度 後援・協賛等一覧

令和3年度 依頼なし

【第2号議案】

令和3年(2021年)度 栃木県作業療法士会 決算報告

収入の部

科目		2021年度予算	補正額	2021年度決算	備考
会員年会費		5,600,000		6,596,000	
研修会 参加費	学術部	身障分野研修会	20,000	35,360	
		精神分野研修会	20,000	21,840	
		発達分野研修会	20,000	48,360	
		老年期分野研修会	20,000	19,760	
		全領域対象研修会	15,000	11,440	
	教育部	現職者共通研修会	200,000	202,800	
		現職者選択研修会	120,000	52,000	
		MTDLP研修会	131,000	69,880	
	地域リハビリ テーション 推進部	県北ブロック研修会	0	0	
		県央ブロック研修会	0	0	
		県南ブロック研修会	0	0	
		地域包括ケア・介護予防推進部門研修会	20,000	10,920	
		認知症ケア対策推進部門研修会	40,000	24,440	
	常設委員会	住宅改修・福祉用具研修会	15,000	15,600	
		自動車運転支援検討委員会研修会	0	0	
	特設委員会	臨床実習指導者研修委員会	600,000	349,000	
		第11回栃木県作業療法学会	200,000	171,000	
銀行利息		0	0	35	
その他(雑益)		0	0	29,309	
年度収入計 (A)		7,031,000		7,657,744	
前年度繰越金 (B)		6,431,283		6,431,283	
収入合計 (C)		13,462,283		14,089,027	

支出の部

科目		2021年度予算	補正額	2021年度決算	備考	
運営費	総務部 事務局費	265,000		227,858		
	総務部 理事会費	120,000		128,915	▲8915	
	総務部 47委員会費	60,000		27,000		
	総務部 事務所運営費	1,703,000		1,463,768		
	会員管理部	20,000		15,802		
	財務部	60,000	40,000	93,909		
運営費合計		2,228,000	40,000	1,957,252		
事業費	学術部	分野別研修会(身障) 2回	70,000		48,532	
		分野別研修会(精神) 2回	68,000		50,238	
		分野別研修会(発達) 2回	45,000		18,842	
		分野別研修会(老年) 2回	47,000	10,000	30,984	
		全領域対象 2回	53,000		51,974	
	学術部合計		283,000	10,000	200,570	
	教育部	生涯教育研修部門 現職者共通研修	124,000		101,431	
		現職者選択研修	65,000		41,340	
		MTDLP推進部門	130,000		57,831	
	生涯教育管理部門		10,000		6,000	
教育部合計		329,000	0	206,602		
地域リハビリ テーション 推進部	推進部管理部門	25,000		22,480		
	県北ブロック	55,000		43,970		
	県央ブロック	30,000		18,991		
	県南ブロック	50,000		32,010		
	地域包括ケア・介護予防推進部門	110,000		102,845		
	認知症ケア対策推進部門	110,000		52,667		
訪問リハビリテーション推進部門		70,000		46,616		
地域リハビリテーション推進部合計		450,000	0	319,579		
事業部		150,000		71,316		
福利厚生部		120,000	23,000	120,406		
広報部		440,000		258,326		
常設委員会	第22回とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員会	292,000		325,188	▲32818	
	第23回とちぎリハビリテーションフォーラム準備委員会	212,000		0		
	住宅改修・福祉用具委員会	133,000		112,118		
	栃木県災害リハビリ対策委員会	95,000		29,790		
学会調整委員会		0		0		
特設委員会	研修会検討委員会	62,000		76,310	▲14310	
	特別支援教育・スクールOT推進検討委員会	18,000		17,690		
	自動車運転支援検討委員会	40,000		9,350		
	臨床実習指導者研修委員会	769,400		470,566		
	記念誌作成準備委員会	0	36,000	31,000		
第11回栃木県作業療法学会実行委員会		900,000		389,177		
第12回栃木県作業療法学会準備委員会		60,000		39,310		
栃木リハビリテーション専門職協会		350,000	80,000	430,000		
事業費合計		4,703,400	149,000	3,107,298		
予備費		6,530,883		0		
支出合計 (D)		13,462,283		5,064,550		
当期収支差(A)-(D)		-6,431,283		2,593,194		
次年度繰越(2022年度)		0		9,024,477		

前年度繰越金  
2021年度 収入  
2021年度 支出  
2021年度 収支差

6,431,283  
7,657,744  
5,064,550  
2,593,194

収入総額  
支出総額  
差引残高

14,089,027  
5,064,550  
9,024,477

以上の通り、報告いたします。

監査の結果、その適正・正確なることを認め、ここに報告いたします。

監事

松崎 昭太郎

財務部

松川 真

監事

黒須 永寿

## 【第3号議案】

### 会員個人情報に関する日本作業療法士協会との覚書締結（改訂版）に関する件

#### 改訂の経緯

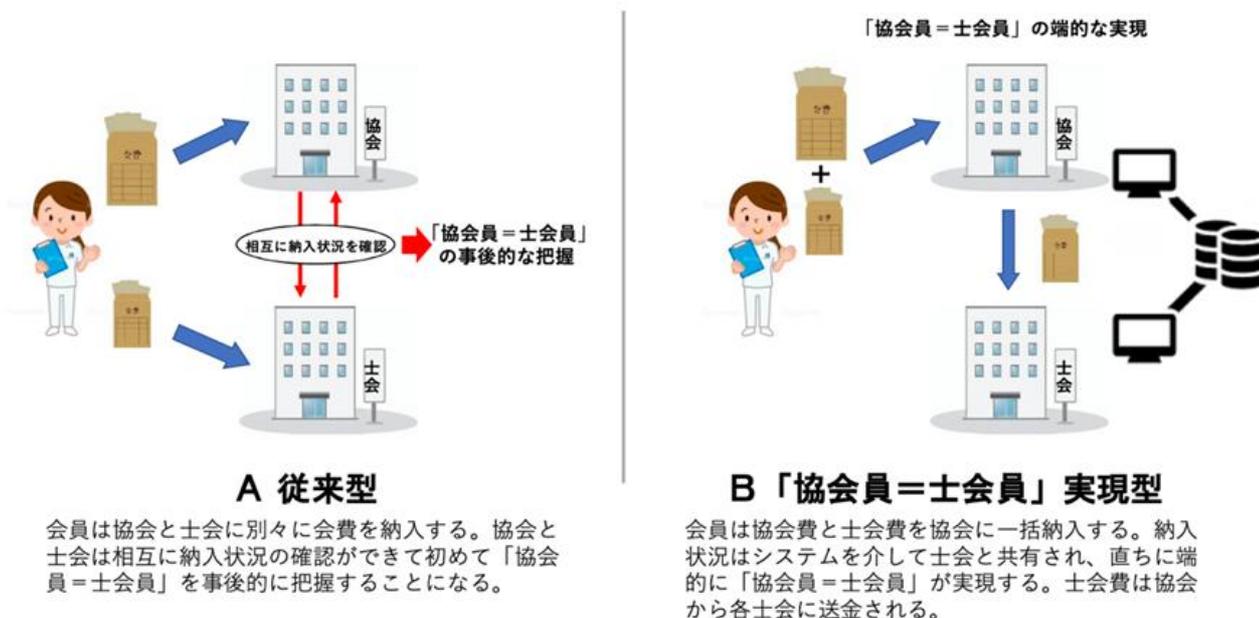
日本作業療法士協会（以下、協会）と栃木県作業療法士会（以下、士会）とは2005年（平成17年）に「個人情報の取り扱いに関する覚書」を締結した。この覚書は、協会が士会に提供している会員情報システム（士会システム）の利活用、協会と士会が共同で実施している生涯教育制度等の事業の運用にあたって、会員個人情報の提供や共有を円滑に進めるための方策として締結したものである。2005年に締結した覚書は、協会から士会へ提供される個人情報の取り扱いに限定されたものであったが、今回の改訂により双方向への提供が可能となる。

#### 「協会員＝士会員」について

現状では協会員ではあるが士会員でない作業療法士、士会員ではあるが協会員ではない作業療法士が存在しており、これらを解消し、両会に所属していない作業療法士も含めて全ての作業療法士が「協会員＝士会員」となることを目指すものである。

日本作業療法士協会と都道府県作業療法士会は、作業療法の学術的発展、制度対策活動、作業療法の普及啓発などにおいて常に連携協力した活動が求められている。そのための基盤整備として「協会員＝士会員」を位置づけており、2025年4月1日より新制度及びシステムの運用開始を予定している。「協会員＝士会員」実現により、諸手続きが以下のように効率化される。

#### ① 会費の徴収について



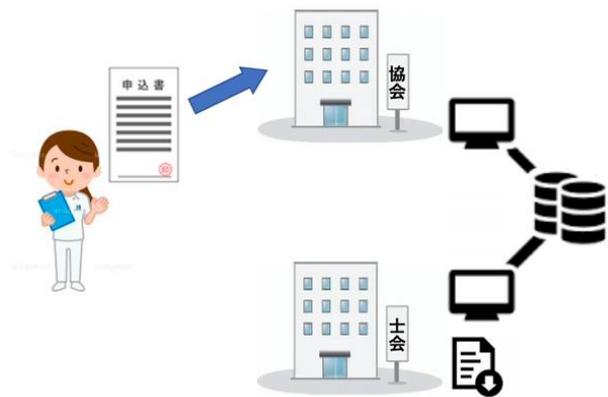
## ② 入退会の管理



### A 従来型

会員は協会と士会別々に入会や退会の手続きを行う。協会と士会は相互に入退会状況の確認ができて初めて「協会員=士会員」を事後的に把握することになる。

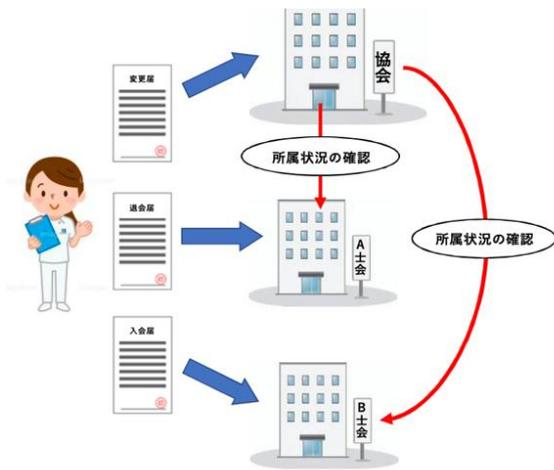
### 「協会員=士会員」の端的な実現



### B 「協会員=士会員」実現型

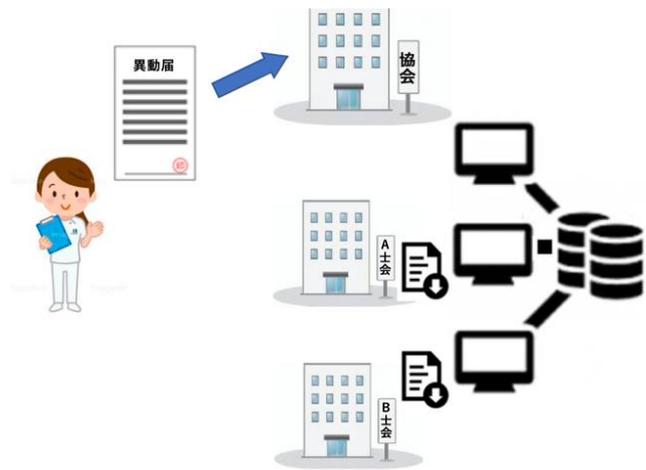
会員は入退会の手続きを協会を窓口にして一元的に行う。会員の入退会情報はシステムを介して士会と共有され、直ちに端的に「協会員=士会員」が実現する。

## ③ 士会間異動の管理



### A 従来型

会員は、所属士会の変更を伴うような異動をする場合、協会には変更届を出し、退会する士会には退会手続、入会する士会には入会手続を行う。「協会員=士会員」を保つには各士会との情報共有が必要となる



### B 「協会員=士会員」実現型

会員は異動届を協会に提出。会員の異動情報はシステムを介して該当士会と共有され、転出元の士会には異動退会、転出先の士会には異動入会として認識される。

上記のように変更となることで、士会の事務処理作業の負担軽減にも繋がるのが期待される。

覚書（改訂版）締結後、短期的には協会員と士会員のデータ突合作業のため、中長期的には「協会員=士会員」のシステム運用に向けて会員情報を共用する予定である。

## 【第4号議案】

### 令和四年度 事業活動内容

一般社団法人栃木県作業療法士会

会長 仲田 和恵

日頃より県士会活動にご協力いただき、御礼申し上げます。

当士会は、作業療法士相互における親睦と資質の向上に努め、県民医療・福祉の発展に寄与することを目的に活動しています。目的達成のために、会員同士が「つながり」「育成」「参画」に注力していくことが大きな柱となります。

令和四年度は以下の10項目を新規事業および重点事業として取り組んでいきたいと考えております。

#### 1. コロナ禍での活動の継続

引き続きコロナ禍の影響を受けると思われるため、県士会ではZoomを用いた会議や研修会開催と並行し、状況に応じて対面での活動を行っていきます。また、Zoom利用の混雑回避への対応を行います。

#### 2. 県士会40周年記念誌の発行

令和三年度から準備委員会を立ち上げ40周年記念誌の作成を進めてきましたが、上半期中に記念誌発行を完遂させます。

#### 3. 事務局機能の充実

「協会員＝士会員」（2025年度から開始予定）に向けて、士会事務局の会員管理システムの移行準備を進めます。さらに会費納入率を向上させ強制退会者を減らすための周知を図ります。また、倫理問題の対応の体制整備にも着手していきます。

#### 4. 士会員が活用できるサービスの充実

休会制度の体制整備、会員からのパブリックコメントの窓口の開設を行います。また、士会主催の各種研修会運営に携わっていただく会員には研修会参加費を免除とします。

#### 5. 学術活動の推進

栃木県作業療法士会編集の学術誌発行に向けた検討を進めます。

#### 6. 生涯教育プログラムの充実

臨床実習指導者研修を教育部へ移管、新たに「後輩育成研修」として臨床実習指導者および新人教育担当者向けの情報交換会を開催、より一層の生涯教育活動の充実を推進します。

#### 7. 各種研修会運営の課題検討

研修会参加費支払いに発生する手数料を士会負担とします。また、参加費徴収手段の見直しや広報手段の検討、オンデマンド配信に向けた検討を進めます。

#### 8. 広報活動の強化

県士会会報誌、ホームページ、メーリングリスト以外の広報ツールとして、SNS系の情報発信ツールの検討を行います。引き続きホームページの充実にも努めます。

#### 9. 新人作業療法士、新入会員を対象とした新たな福利厚生事業の推進

コロナ禍により中止となっている新人歓迎会に代わる事業として、オンラインでの新人オリエンテーションを開催します。OT協会や栃木県士会の紹介、他施設の先輩作業療法士とのつながりの場を作ります。

#### 10. 全国障害者スポーツ大会栃木開催（10月29日～31日）への参加協力

障害者スポーツへの関与を通し、作業療法士の社会貢献活動への参画を推進します。

※新規事業

＜事務局＞

局長 坂田 尚昭

総務部

理事 友利 海邦

1. 会議の開催および運営
  - (1) 総会 オンライン開催
  - (2) 理事会（オンライン） 令和4年4月・6月・8月・10月・12月・令和5年1月・2月・3月
  - (3) 三役会議 令和4年11月
2. 会員への文書発送及び保管
3. 内外の文書の処理
4. 協会との連携活動
5. 他団体との情報交換
6. 求人・求職に関する掲載の案内
7. 行政からの委託事業対応（各種委員・講師の推薦、調整 等）
8. 定款の見直し（協会員＝士会員を見据えた定款の一部変更）※
9. 定款施行規則の作成・見直し
10. 日本作業療法士協会の倫理担当窓口
11. 作業療法の倫理に関する情報の管理・整理
12. 事務所運営管理
13. 40周年記念誌発刊準備 ※
14. 会員からのパブリックコメントの集約窓口 ※

会員管理部

理事 板倉 未来

1. 会員の入退会等会員管理
2. 年会費の徴収および管理
3. 年会費領収証の発行および管理
4. 未納会員に対する対応
5. 休会制度設置準備 ※
6. 会員管理システムへの移行準備（日本作業療法士協会との会員情報の突合）※

財務部

理事 松川 勇

1. 士会銀行口座の管理
2. 各部委員会会計担当者との連絡調整
3. 次年度予算案の作成
4. 講師謝金等にかかる源泉税の納入および管理
5. 会計監査会の開催
6. 財務部内の運営
7. 財務部の次年度事業計画案・予算案の作成

8. 財務部内予算の管理
9. 領収証等の管理
10. 財務部の収支報告・決算報告の作成
11. 全体の予算案・決算報告書を総会資料用に準備する

## <各部>

### 学術部

理事 須藤 智宏

1. 分野別研修会の開催：身体障害分野 2回（5月・10月）  
     精神障害分野 2回（6月・11月）  
     発達障害分野 2回（7月・12月）  
     老年期分野 2回（8月・1月）  
     全領域対象 2回（9月・2月）
2. 部会会議：研修会調整会議、学術誌発行に向けた検討会議 3回

### 広報部

理事 高村 直裕

1. 広報部門：協会広報部・各県士会広報部との連携 ※  
     広報媒体の企画・制作（一般向け・高校生向け）  
     SNS系新規情報発信ツールの検討 ※
2. 会報誌部門：会報誌「実」No.104、105、106号発行
3. ホームページ部門：ホームページ運用・情報更新（会員向けページ整備とアクセス向上対策）、  
     コンテンツ作製、メーリングリスト運用と登録者向上対策

### 福利厚生部

理事 和久井 千夏子

1. 新人会員への記念品贈呈
2. 会員への福利厚生事業に関する検討
3. オンライン新人オリエンテーションの企画・運営 ※

### 事業部

理事 山口 理貴

1. 委託事業
  - ・栃木県事業への参画（栃木県自立支援協議会相談支援部会、地域移行ワーキンググループ、発達障害者支援アドバイザー）
2. 障害者スポーツ：作業療法士の社会貢献活動の推進
  - ・フライハイトとちぎ（ソーシャルフットボール）、精神障害者バレー、ツインバスケなど各チームのサポート（随時）
  - ・全国障害者スポーツ大会区分判定研修会、障がい者スポーツ指導員初級講習会の参加
  - ・2022年10月29～31日、栃木開催「全国障害者スポーツ大会」におけるコンディショニンググループ運営・準備（協力者の募集・事前研修）、各種情報収集など

### 3. 啓発活動

- ・1,2の活動に合わせて、パンフレット・グッズなどを配布
- ・部員の身近な地域で行われるイベントでの、パンフレット・グッズの配布

### 4. 障害者の地域生活支援に関する情報提供、相談窓口

- ・会員向けの障害福祉サービス・相談支援・就労支援等、地域生活支援に関する相談窓口の設置（随時：電話、メール）
- ・オンライン情報交換会の実施 3回

## 教育部

理事 渡邊 真一

### 1. 教育部研修

- ・現職者共通研修：3回（第1回：令和4年7月、第2回：令和4年9月、第3回：令和4年12月）
- ・事例検討報告会：2回（第1回：令和4年9月、第2回：令和5年1月）
- ・現職者選択研修：2回（発達障害領域6～8月、身体障害領域：11月）
- ・MTDLP基礎研修：1回（令和4年7月）
- ・MTDLP実践者研修：1回（令和5年1月）
- ・MTDLP関連研修：1回（令和4年8月）
- ・臨床実習指導者講習会：2回（令和4年8月、令和4年12月）
- ・後輩育成研修：1回（令和4年5月 臨床実習指導者・新人教育担当者向け情報交換会） ※

### 2. 生涯教育管理

- ・研修会管理（参加者・講師の登録等）
- ・生涯教育制度窓口

### 3. その他

- ・MTDLP全国推進担当者会議：数回／年
- ・生涯教育制度推進担当者会議：1～2回／年

## 地域リハビリテーション推進部

理事 有馬 正人

### 1. 管理部門：部門長、副部門長、ブロック長、副ブロック長による部門会議開催

### 2. 地域包括ケア推進部門：

- ・地域支援事業に関する初任者・現任者研修会の開催 各1回
- ・ブロック研修会の開催1回（ブロック持ち回り制 R4 県北・R5 県南・R6 県央）
- ・OT協会主催 地域支援事業に関する人材育成研修参加
- ・精神発達領域の地域支援事業に対応できる人材育成
- ・25市町事業参画実績の情報収集と発信
- ・地域ケア会議見学システム運用
- ・地域支援事業相談窓口設置

### 3. 認知症ケア対策推進部門：

- ・認知症アップデート研修の開催1回、認知症応用研修の開催1回
- ・認知症初期集中支援チームや認知症カフェ等地域活動における情報収集・発信

- ・「認知症の人と家族の会」や行政との連携（栃木県の啓発事業への参加）
  - ・OT 協会制度対策部認知症班との連携
4. 訪問リハビリテーション推進部門：
- ・訪問作業療法に関する研修会の開催 1回
  - ・3協会主催 訪問リハビリテーション・地域リーダー会議参加
  - ・栃木県内の訪問作業療法に関する情報収集・発信、座談会の開催
5. その他：
- ・研修方法は、状況に応じて対面方式、オンライン方式
  - ・部門内会議の開催

#### 委員会担当

理事 岩瀬 直樹

1. 常設委員会の住宅改修・福祉用具委員会および災害リハビリテーション対策委員会の進捗を理事会に報告し、フィードバックしていきながら、円滑な委員会活動が行えるよう調整する。

#### <栃木県作業療法学会>

##### 栃木県作業療法学会実行委員会

学会長 上岡 克好

目的：作業療法の資質向上の一助として、士会員の実践報告並びに知識の増大を図るための場の提供を行う

- 活動計画： 1. 第12回栃木県作業療法学会の開催
2. 上記のための委員会設置と委員会の開催
3. 開催方法は、状況に応じてハイブリッド方式、オンライン方式とする

#### <常設委員会>

##### とちぎリハビリテーションフォーラム準備委員会

委員長 岩瀬 直樹

目的：以下の目的を踏まえてリハビリテーションフォーラム開催の準備

1. 一般県民や他職種へのリハビリテーションおよび作業療法の啓蒙活動
2. 作業療法士の資質向上を図り、作業療法士としての社会貢献

- 活動計画： 1. 第23回とちぎリハビリテーションフォーラム開催の準備
2. 委員会会議開催 6回

とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員会：開催間隔調整のため、令和4年度の実行委員会活動はなし

##### 住宅改修・福祉用具委員会

委員長 須藤 誠

- 目的： 1. 県士会員の住宅改修および福祉用具に関する知識向上・研鑽に向けた活動
2. 住宅改修・福祉用具に関する事業の窓口と対応
3. 県士会員へ向けて住宅改修および福祉用具に関する情報の発信

- 活動計画： 1. 委員会開催（オンライン） 5回
2. 研修会開催 3回

3. 第17回とちぎ福祉用具・自助具“発明・工夫・適応”コンテスト実施に向けた準備・運営
4. ホームページ・広報誌・学会等を通しての委員会活動報告
5. 生活行為工夫情報事業の周知・広報活動 ※

#### 災害リハビリテーション対策委員会

委員長 熊倉 万実子

目的：大規模災害などにおいて、災害時要援護者や新たな障害者への対応、ならびに生活不活発病の予防を目的とし、リハビリテーション支援を行い、自立した生活を早期に構築するための対策・準備等を行うこと

活動計画：1. 連絡網の整備（災害リハ委員会）

2. 栃木県作業療法学会での展示ブースの設置（災害リハ委員会）
3. 実際の災害時の活動内容の検討（災害リハ委員会・専門職協会災害リハ推進部）
4. 災害リハビリテーションボランティアの登録者の増加と育成に向けた活動（災害リハ委員会・専門職協会災害リハ推進部）
5. リーフレットの作成（専門職協会災害リハ推進部）
6. マニュアルの作成（専門職協会災害リハ推進部）
7. 研修会の企画・立案（専門職協会災害リハ推進部）
8. 栃木 JRAT と栃木県との協定締結について（専門職協会災害リハ推進部）
9. 国際医療技術財団（JIMTEF）災害医療研修会への参加
10. 協会主催の災害時シミュレーションへの参加
11. 会議の開催
  - （1）常設委員会災害リハ委員会定例会議（オンライン）開催時期：5回（5、7、9、11、1月）
  - （2）専門職協会災害リハ推進部代表者会議 開催時期：2回（6、11月）
  - （3）専門職協会災害リハ推進部全体会議 開催時期：2回（7、12月）

#### 学会調整委員会

委員長 松崎 昭治郎

- 目的：1. スムーズな企画運営のための手引書の作成  
2. 各ブロックの企画内容の大きな格差の検討

#### <特設委員会>

##### 特別支援教育・スクール OT 推進検討委員会

委員長 谷口 敬道

目的：栃木県内において当該領域における作業療法士の必要性及び理解を深めるために、県・市・町の各教育委員会、各特別支援学校、各小中学校の対応窓口（相談・派遣依頼など）としての役割を果たし、支援体制を充実させる。

活動計画：1. 委員会会議開催 3回

2. 栃木県特別支援学校自立活動充実事業における栃木県教育委員会窓口
3. 教育・研究機関、行政機関等からの依頼・相談窓口
4. 支援体制の拡充を目的とした作業療法士の育成

## 研修会検討委員会

委員長 横山 奈美

目的：士会主催の研修会の調整を図り、より円滑かつ会員に有益な研修会開催について以下を検討する

1. 研修会開催に係るリモート開催・感染等のマニュアルの継続的な検討
2. 各部主催研修会の目的、主対象層、開催時期を調整し、士会全体の効率化、会員への還元のための向上

を

図る

3. リモート開催の場合の参加費徴収方法の検討
4. 研修会情報の広報の方法の検討 ※
5. 研修会等のオンデマンド配信の検討 ※

活動計画：委員会会議開催 6回

## 記念誌作成準備委員会

委員長 坂田 尚昭

目的：士会創立40周年を祝して記念誌発行に向けた準備

活動計画：1. 委員会会議開催 2回

2. 記念誌の発行（令和4年7月）

## 自動車運転支援検討委員会

委員長 土屋 綾子

昨年度で委員会としての活動は終了予定であったが、協会の委員会が1年延長（5年度以降は常設化予定）となったため、当委員会も1年の延長となった。

目的：1. 自動車運転に関する作業療法士の関わりについて、情報の集約および発信を行う 2.

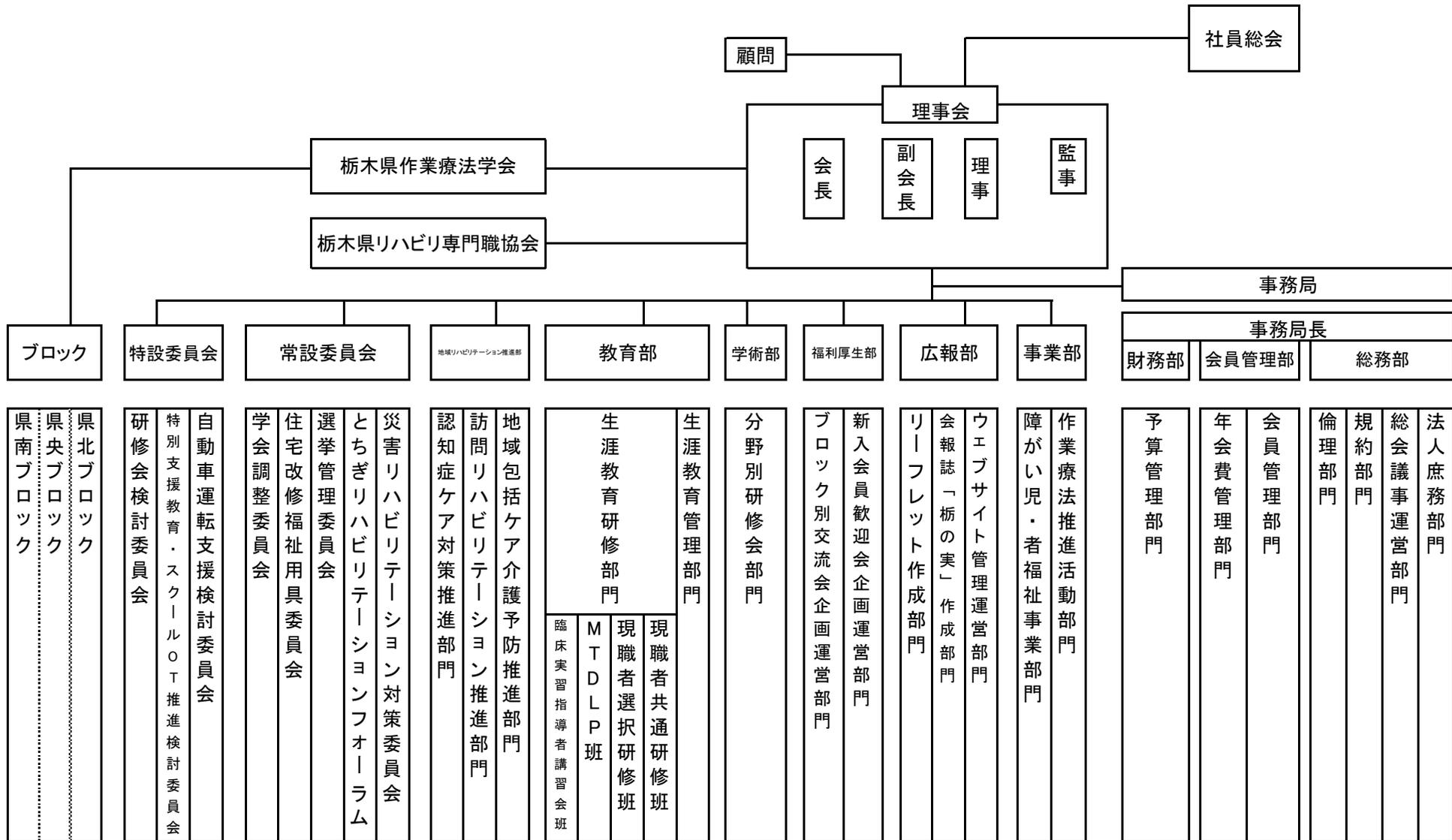
栃木県内の作業療法士の自動車運転支援に関する試みについて情報交換を行い、学習の場の提供を行

う

活動計画：1. 委員会開催（オンライン）4回

2. 県内各施設に向けた研修会・情報交換会の実施 1回

一般社団法人 栃木県作業療法士会 組織図



収入の部

科目		2021年度決算	2022年度予算(案)	備考
会員年会費(8,000円)		6,596,000	6,240,000	780名分
研修会 参加費	学術部	身障分野研修会	35,360	30,000
		精神分野研修会	21,840	20,000
		発達分野研修会	48,360	20,000
		老年期分野研修会	19,760	20,000
		全領域対象研修会	11,440	20,000
	教育部	現職者共通研修会	202,800	208,000
		現職者選択研修会	52,000	240,000
		MTDLP研修	69,880	98,200
	地域リハビリ テーション 推進部	県北ブロック研修会	0	5,000
		県央ブロック研修会	0	0
		県南ブロック研修会	0	0
		地域包括ケア・介護予防推進部門研修会	10,920	12,500
		認知症ケア対策推進部門研修会	24,440	20,000
訪問リハビリテーション推進部門研修会	0	5,000		
常設委員会	住宅改修・福祉用具研修会	15,600	31,200	
特設委員会	自動車運転支援検討委員会研修会	0	13,000	
	臨床実習指導者研修委員会	349,000	300,000	
第12回栃木県作業療法学会		171,000	200,000	
銀行利息		35	0	
その他(雑益)		29,309	0	
年度収入計 (A)		7,657,744	7,482,900	
前年度繰越金 (B)		6,431,283	9,024,477	
収入合計 (C)		14,089,027	16,507,377	

支出の部

科目		2021年度決算	2022年度予算(案)	備考
事務局 運営費	総務部	383,773	450,000	
	会員管理部	15,802	325,000	
	財務部	93,909	80,000	
	事務所運営	1,463,768	1,510,000	
運営費合計		1,957,252	2,365,000	
事業費	学術部	分野別研修会(身障) 2回	48,532	51,000
		分野別研修会(精神) 2回	50,238	55,000
		分野別研修会(発達) 2回	18,842	45,000
		分野別研修会(老年) 2回	30,984	54,000
		全領域対象 2回	51,974	69,000
		学術部合計	200,570	274,000
	教育部	生涯教育研修部門 現職者共通研修	101,431	131,000
		現職者選択研修	41,340	129,000
		MTDLP推進部門	57,831	109,000
		生涯教育管理部門	6,000	7,000
	教育部合計	206,602	376,000	
	地域リハビリ テーション 推進部	推進部管理部門	22,480	25,000
		県北ブロック	43,970	84,000
県央ブロック		18,991	19,000	
県南ブロック		32,010	38,000	
地域包括ケア・介護予防推進部門		102,845	168,000	
認知症ケア対策推進部門		52,667	105,000	
訪問リハビリテーション推進部門		46,616	67,000	
地域リハビリテーション推進部合計	319,579	506,000		
事業部	71,316	220,000		
福利厚生部	120,406	152,600		
広報部	258,326	415,000		
常設委員会	第23回とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員会	325,188	0	
	第24回とちぎリハビリテーションフォーラム準備委員会	0	220,000	
	住宅改修・福祉用具委員会	112,118	199,200	
	栃木県災害リハビリ対策委員会	29,790	85,000	
	学会調整委員会	0	0	
特設委員会	研修会検討委員会	76,310	70,000	
	特別支援教育・スクールOT推進検討委員会	17,690	16,000	
	自動車運転支援検討委員会	9,350	75,000	
	臨床実習指導者研修委員会	470,566	446,300	
	記念誌作成準備習指導者研委員会	31,000	220,000	
第12回栃木県作業療法学会実行委員会	389,177	700,000		
第13回栃木県作業療法学会準備委員会	39,310	60,000		
栃木リハビリテーション専門職協会	430,000	430,000	860名×500円	
事業費合計		3,107,298	4,465,100	
予備費		0	9,677,277	
支出合計 (D)		5,064,550	16,507,377	
当期収支差(A)-(D)		2,593,194	-9,024,477	
次年度繰越		9,024,477	0	